



千代田区議会議員 身近な区民の代弁者として、皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます。

池田とものりの区政レポート

第6号
平成29年4月

To Next Generation! **千代田の未来へ世代をつなぐ!!**

平成29年第1回区議会定例会にて一般質問を行いました!

「食品ロスの削減」を食育のテーマに

平成17年に「食育基本法」が制定され、「食育」の名のもと、様々な食育推進活動が行われています。

【池田】 平成21年「新ちよだ食育ガイド」を改定し、平成24年度から平成28年度までを計画期間とした「第2次千代田区食育推進計画」に基づき4つの重点指標を掲げ食の大切さを伝えてきました。この5年間で推進してきた、「子ども」を中心とした**生涯にわたる食育**について成果と課題、今後の取り組みについて区のお考えをお示してください。

【答弁】 一定の成果があったものと考えているが、家族全体で食育に取り組むことが難しい状況もある。今後は第3次食育推進計画に基づき**「食育目標5本の柱」**を維持しつつ区民や民間事業者等ともさらに連携を拡大しながら取り組んでいく。

住宅、飲食店、コンビニ、ホテルの多い千代田区は率先して取り組むべき課題では?

【池田】 「食べる」ことに関する様々な場所で食品ロスが発生しています。その全体の約半数にあたる年間約302万トンが家庭から発生しているのです。家庭での食品ロスを削減できれば、食べ物の廃棄量を減らすという環境面だけでなく、家計面にとってもメリットがあることは言うまでもありません。まずは食材を買いすぎないこと。冷蔵庫にある食品の在庫を把握し必要以上に買い物をしないこと、それには自分たちの食の適量を把握することが大切だと考えます。また、外食時での食べ残しを防ぐことも食の大切さということでは必要だと考えます。飲食店での食品ロスの削減に向けて「残さず食べる」ことも食育ではないでしょうか。買って来た食材は使い切る、そして食べきることを目標とする食育として、食品ロスを防ぐ買い物を推奨してはいかがでしょうか。買い物の仕方を工夫する、無駄な買い物をしないような指導、**3Rの推進**(※)から、**リデュース、リユースの2Rをより推進**することをご提案いたします。

【答弁】 廃棄物を削減するには2Rを進めることが肝要、食品ロス削減に向けた事業者への意識啓発を図っていき、この問題に関心を持ってもらえるような場の提供を検討していく。

(※)3Rは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つの英語の頭文字を表し、3Rの推進は、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(=循環型社会)をつくらうとするものです。

食品ロスを認識する場を広く提供しては?

【池田】 「食品ロス」がどのように発生しているのか、わかりやすく伝えられるとともに、日常生活における「食べる」ことへの感謝の気持ちを啓発する食育プログラムが、**もったいない鬼ごっこ**です。食品ロスを体感・学習できるゲーム型教材です。食品ロスが発生する生産・加工・流通・消費の各現場で「ここではどんな食品ロスが生まれるのか?」のレクチャーがなされます。食品ロスの原因には我々自身の意識が関わっていることを認識するのが狙いの一つでもあります。親子で参加することで、日頃の意識が高まり、食品ロスの削減へとつながります。



こうした**フードロス・チャレンジ・プロジェクト**には、廃棄しない方法、非常食をおいしく食べることを学んで、防災や非常食に対する私たち自身の意識や関心を高めるようなワークショップや料理教室があります。自分にも、家庭にも、世の中にもいい、このような食品ロス対策のイベントを区として取り上げ、子どもや親が認識する場を広く提供してはいかがでしょうか。



【答弁】 ゲーム形式により、楽しく、わかりやすく食品ロスについての意識が学べることは効果的、新たな取り組みとして、学校行事や区のイベントに取り入れるなど前向きに検討していく。

<区長答弁要約>

「食」という字は、「人」に「良」が入っている。「良い人を育てる」というのが「食育」だろうと思う。食を通じてコミュニケーションを持つことは非常に大切なこと。また、3Rの取り組みから優先順位が高い2Rに着目する必要がある。まずは教育の場で、児童・生徒に対して「もったいない」の意識づけを行い、各家庭での取り組みにつなげていくことが肝要である。

これからも安心して暮らしていける千代田を目指して

区政報告 その①

予算特別委員会報告 「平成29年度千代田区一般会計予算について」

2月の区長選挙後、初めての定例会は予算議会ともいわれ、新年度予算と今年度補正予算を審議する予算特別委員会が設置されました。各分科会で予算調査を行い、その後25名全員での総括質疑が行われました。議会への報告の不十分さを指摘されるなど、当初の予定より一日延びた3日間に及ぶ質疑になりました。「九段中等教育学校増築整備」については、当初計画の連絡橋では国の通知を見落とし、隣地より10m離さないとならない事態になったこと、計画変更の



九段中等教育学校

新校舎建設は貴重な校庭を狭くしてまで建設する緊急性がないことなどを指摘して、**関連予算の全額を減**

額とする予算修正案を提出し、賛成多数で可決されました。また、区に対して新年度の予算執行にあたり、「箱根千代田荘の活用策調査と代替施設の見直し」「軽井沢少年自然の家の活用策調査」など10項目に及ぶ附帯決議を全会一致で可決しました。区民の貴重な区有財産や税金ですから、議会には十分な報告、さらに協議を行いながら区政運営に努めるよう、これからも注視していきます。



箱根千代田荘

区政報告 その②

委員会報告 (子育て文教委員会)

かねてより計画されていた**四番町保育園・児童館等の整備**について予算特別委員会の総括質疑でも取り上げられました。新園舎の整備前に先行して、保育園・児童館機能の維持と安心安全の確保を図り、仮園舎の整備計画は順調に進んでいます。また、今年になって新たな保育所が開設、開所されます。4月より「**神田淡路町保育園大きなうち**」、6月には、「**グローバルキッズ六番町園**」と待機児童問題解消に向け進んでいますが、



△四番町保育園

保育需要に対する保育所整備の充実を引き続き区に対応を求めています。

活動報告 その①

防災訓練事業

これまで各地域で定期的に行われてきた「**避難所開設訓練**」は、

地域住民が主体となって「資器材の備蓄倉庫からの搬出・組み立て・操作」・「MCA無線機を活用した通信訓練」など避難所開設に特化した実践的な訓練でした。平成29年度は加えて新たな訓練形式を導入しさらなる向上を図っていきます。それが「**HUG(ハグ)訓練**」です。

様々な事情を抱えた方々が避難所を訪れてきたり、または突然の環境の変化や出来事に適宜判断したりと、一般的な避難所に見立てた平面図を使い、①**どれだけ適切に判断できるか**②**避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか**をゲーム形式で模擬体験できる訓練です。こうした新たな訓練形式を導入しながら「**みんなで助け合う減災のまちづくり**」を進めていきます。



<池田とものり PROFILE>

「子育て文教委員会(常任委員会)」「公共施設整備特別委員会」「議会のあり方に関する調査特別委員会」「区議会だより編集委員会」

- ★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業
- ★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業 ★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業
- ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役
- ★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長 ★平成15年～平成26年 千代田区スポーツ推進委員
- ★平成25年～共立女子学園後援会副会長 ★平成26年 千代田区ドッチビー協会を設立、初代会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッチビー(審判・指導資格取得)

池田とものり事務所 〒102-0084 千代田区二番町11-1 朝日サテライト二番町406
TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com

池田とものり
公式アプリ公開中!!

